

学校の個別業務の役割分担及び適正化に向けて

学校ごとに
学校、家庭、地域の
三者で協議しています。

基本的には、 学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも 教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、 負担軽減が可能な業務
①登下校に関する対応 ②放課後から夜間などにおける 見回り、児童生徒が補導され たときの対応 ③学校徴収金の徴収・管理 ④地域ボランティアとの連絡調整	⑤調査・統計等への回答等 ⑥児童生徒の休み時間にお ける対応 ⑦校内清掃 ⑧部活動	⑨給食時の対応 ⑩授業準備 ⑪学習評価や成績処理 ⑫学校行事等の準備・運営 ⑬進路指導 ⑭支援が必要な児童生徒・家庭 への対応

【新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について(答申)】平成31年1月25日(中央教育審議会)

伊奈町の保護者・地域の皆様へ

教師の仕事は、「子供たちの人生を預かる仕事」ということもでき、「魅力ある教職」です。しかし、現在、全国の教職員は、多忙を極めております。

そこで伊奈町では、平成29年度より、文部科学省、埼玉県教育委員会から「学校現場における業務改善加速事業」の委託を受け、改善・改革に向けて取り組んでいます。これは、「子供たちの笑顔があふれる学校」づくりをめざしたものであり、そのために、「子供たちと向き合う時間の確保」をし、そして、教師の本来の仕事である「学習指導」「生徒指導」を充実させるというものです。

伊奈町では、これまで2年余り、事業を推進する中で、様々な取組を進めてまいりました。このリーフレットの内容は、その一部です。その成果は、教職員の時間外・在校時間の削減や、教職員の働き方に関する意識の改革、埼玉県学力・学習状況調査結果の向上、部活動の質・量の両面の改革など、全体として徐々に改善状況が表れてきております。

しかし、文部科学省や埼玉県教育委員会のかかげた働き方に関するガイドラインや基本方針には達しておらず、まだまだ改善・改革が必要です。

これまでの取組を一層推進、充実させるとともに、このリーフレットでも重点的に取り上げた「地域とともにある学校づくり」をさらに進めていく必要があります。

私たちの目の前の子供たちは、「未来を担う、未来を託す」子供たちです。この子供たちの笑顔をめざして、学校、家庭、地域と行政が一体となってそれぞれの役割を果たしてまいりましょう。保護者や地域の皆様のお力添えを、引き続きよろしく願いいたします。

関係資料について

伊奈町教育委員会
業務改善加速事業関係資料



伊奈町教育委員会
業務改善加速事業
リーフレット第1号
(H30. 10月版)



伊奈ローズくん

伊奈町教育委員会
教育長メッセージ



文部科学省
学校における働き方
改革について



文部科学省
コミュニティ・スクール
(学校運営協議会制度)
について



問い合わせ先 伊奈町教育委員会 学校教育課 TEL 048(721)2111(代) FAX 048(721)4851

伊奈町立小・中学校、教育委員会は

「子供たちの笑顔があふれる学校」をめざして 学校現場における業務改善加速事業 に取り組んでいます

教員が子供と向き合う時間を確保して取り組んでいくことは

◎教材研究や教材作成など、質の高い授業の準備をします。

新学習指導要領を研究し、子供たちがこれからの時代を生き抜くことができる授業作りをします。各種学力・学習状況調査を分析し、一人一人を生かし、伸ばす指導ができるようにします。

◎子供一人一人の理解を深め、自己実現が図れるようにします。

子供一人一人に寄り添い、関わって、生き方の教育を展開していきます。

◎余暇を活用し、リフレッシュし、子供たちの前に元気になって向き合います。

余暇を使って、人間的な魅力を高めたり、自己研鑽に励んだりします。



伊奈ローズちゃん

平成29年度からこれまでの取組(抜粋)

<p>在校時間の実態把握をもとにした、勤務の管理・改善</p> <p>タイムマネジメントの意識が向上!</p>	<p>ボトムアップ型の熟議によるカエル会議を通じた業務改善</p> <p>地域の方々と直接熟議により、信頼関係向上!</p>	<p>業務アシスタント(スクール・サポート・スタッフ)の配置活用</p> <p>教職員が、子供と向き合う時間を確保!</p>
<p>事務職の専門性を生かした業務改善</p> <p>町内の事務職員の連携により、業務効率アップ!</p>	<p>行政と学校の熟議による業務改善</p> <p>魅力ある学校づくりのために、行政がバックアップ!</p>	<p>学校、家庭、地域、行政で構成するプロジェクト委員会での熟議</p> <p>各学校での改善や連携推進をサポート!</p>
<p>指導案や教材の共有化</p> <p>通知表、出席簿等の電子化</p> <p>部活動の改革</p>	<p>学校閉庁日の増加</p> <p>留守番電話の導入</p> <p>学校現場からの声 子供に向き合う意識が変わりました</p>	<p><教職員アンケート> あなたは、子供と向き合う時間が、確保されていますか? 約19ptアップしました</p> <p>1回目 54.8% 5回目 73.9% (拠点校)</p>

さらに

「地域とともにある学校づくり」

令和元年11月 伊奈町教育委員会

をめざしています

これからの時代を
教師として生きるために

「子供たちの笑顔があふれる学校」

これからの時代を
生きる子供を育てるために

取組を進めています！

スクール・サポート・スタッフの活用

・文書の印刷・配付、授業や行事等の準備をしてもらったことで、教員は、子供の話を聞いたり、一緒に活動したりする時間が増えました。

地域ボランティアの活動

・地域の方が学校の教育活動に関わることで、学校、家庭、地域が連携した教育をより展開できます。教員は、学習指導や生徒指導など、本来業務に専念できます。



保護者や地域住民による環境整備

家庭

社会に開かれた教育を

カエル会議（保護者等を交えての熟議）

・学校の業務改善に関わる会議（カエル会議）に保護者等が参加することで、新たな視点での業務改善ができています。理解から共感、そして支援をめざしています。

【保護者、地域の方との協議・熟議から出た発言例】

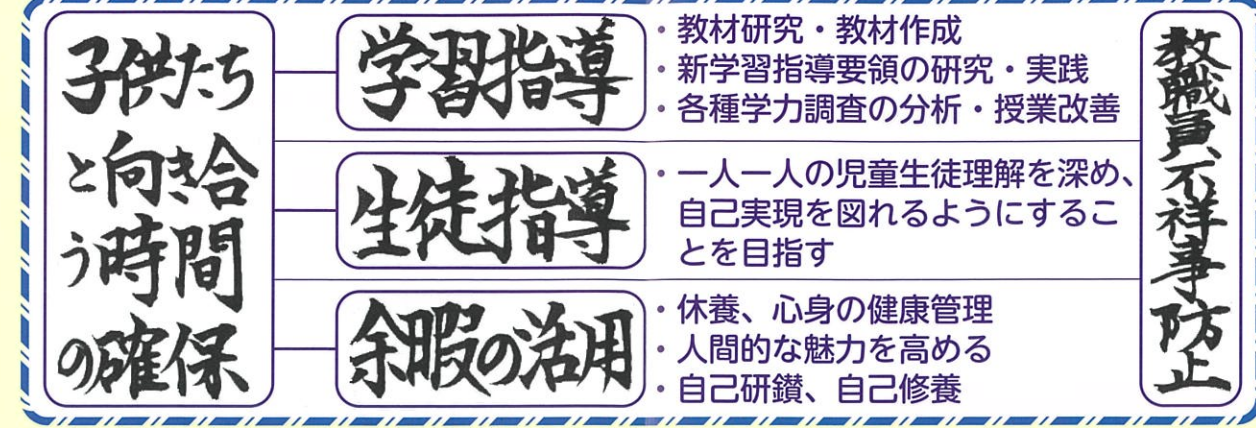
夏休みに何かできる支援はありますか？

花壇の水やり、校外の見回りなどをお願いします。

学校行事は、全部学校が準備するものなの？

学校、家庭、地域の皆さんの力が必要です。

それなら、運動会のテントは任せて！子供用と本部用。準備から片付けまで！



取組を進めています！

中学校部活動の改革

伊奈町部活動方針等に基づく活動

- ・休養日や活動時間を設定し、計画的、効率的に運営するようにしています。（量の改善）
- ・「部活動熟議」を行い、生徒の自主的、自発的な活動を行うようにしています。（質の改善）

部活動指導員等の活用

・専門知識を有する経験豊富な人材を活用し、部活動顧問として教員とともに指導する「部活動指導員」等を活用しています。



学校評議員、学校関係者評価委員の皆さんとの熟議

地域

未来を担う子供たちのために

学校、家庭、地域の力で、子供たちを見守り、育てる伊奈町へ



スクール・サポート・スタッフの活動

学校



部活動指導員の指導

伊奈町業務改善プロジェクト委員会

現在ある組織（学校評議員、学校関係者評価委員会等）を生かした協議体となるよう、学校、家庭、地域、行政で構成するプロジェクト委員会で熟議を進めています。



学校の「支援」から学校と「連携・協働」へ

学校応援団のさらなる活用

・学校応援団コーディネーターを活用し、子供たちのための連携・協働体制をさらに整えています。

みんなで連携・協働するとどんないいことがありますか？

子供たちの学びや体験活動が充実します。

地域の中で子供たちが育てられているという安心感が生まれます。

コミュニティ・スクール設置へ

・学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが参画できるように仕組みを整えていきます。

・子供の教育に対する課題や目標を共有し、関わる全ての人に様々な魅力が広がるよう、よりよい取り組み方を考えていきます。

学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。

地域の方々が経験を生かすことで、生きがいにつながります。

社会総掛かりで子供たちを育む体制を作るために

「地域とともにある学校づくり」

持続可能な連携・協働体制の構築のために